

科目番号		51016	分類	共通科目	履修者	高度実践公衆衛生看護コース		学年
科目名	政策医療特論 (Health Care Policy: Issues and Trends)							1
								配当セメスター
								前期
担当者	○山西 文子 他6名			区分	必修	単位	1	時間数
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連		
【概 要】 日本における医療や看護の歴史的経緯と現状を理解し、現代の医療および看護における課題を明確にする。また、政策医療の歴史や特徴、現代社会における位置づけ、日本の医療においてどのように展開しているか理解を深めるとともに、政策医療における看護の方法論を探求する。 【目 標】 政策医療と看護の背景および動向を探求し、これからの課題と展望を考察する。						○	1. クリティカル領域における患者の状況を総合的に判断する能力	
						○	2. クリティカル領域における患者に必要な治療を実践できる能力	
						○	3. 患者に安心・安全な医療をタイムリーかつ効果的に提供するために医師等との協働ができ、ネットワークを推進できる能力	
						○	4. 専門職としての倫理的意思決定能力	
							5. 高度看護実践者として、教育的経営的な視点をもつトツプマネジメント能力	
							6. 臨床実践に潜む課題を形式知へと創出する研究開発能力	
						○	7. クリティカル領域における患者の危機的状況を支援する能力	
授 業 計 画								
回	内 容							担当教員
第1回	政策医療概説							山西 他6名
第2回	政策医療概説（移植医学）							
第3回	政策医療概説（先進医学・集学的治学・免疫療法）							
第4回	政策医療概説（精神疾患）							
第5回	政策医療概説（神経・筋疾患）							
第6回	政策医療概説（結核・ハンセン病・エイズ等感染性疾患）							
第7回	政策医療看護の概要							
第8回	まとめ							
事前・事後学習	事前学習：当日の課題に関し参考図書の内容を予習し理解して授業に参加する。 事後学習：授業の内容を配布資料と参考図書等で復習する。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考にに取り組むこと。							
評価の方法	課題レポートで評価する。出席率 フィードバックは適宜行う。							
参考図書・資料等	その他文献は随時提示する							
備 考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。							